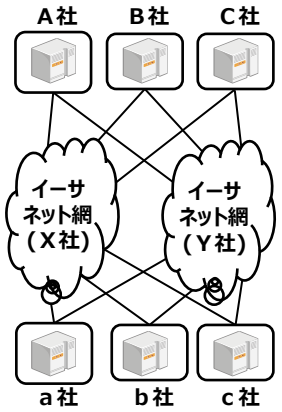
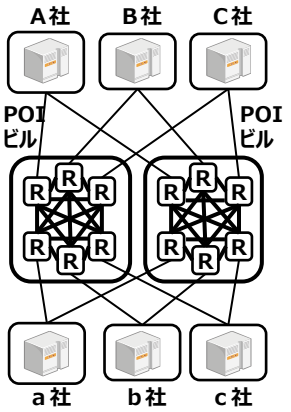
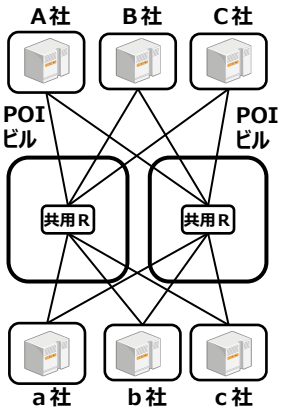
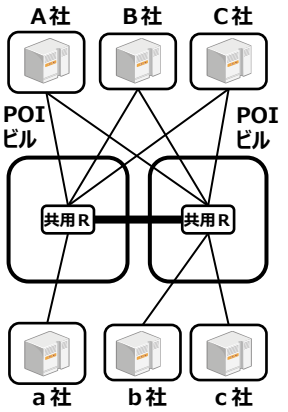
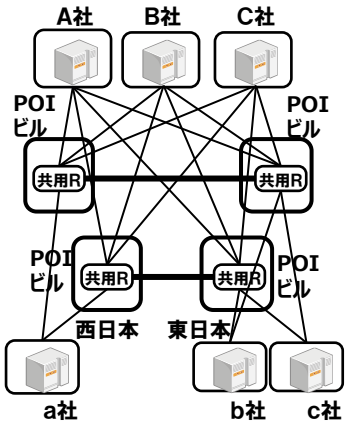
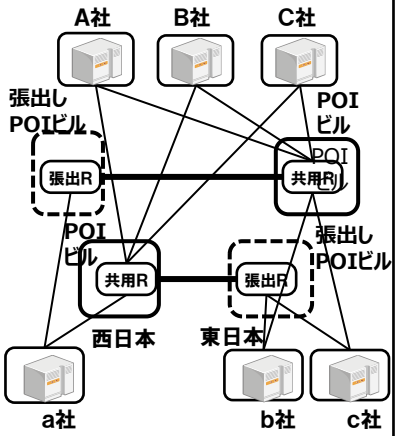
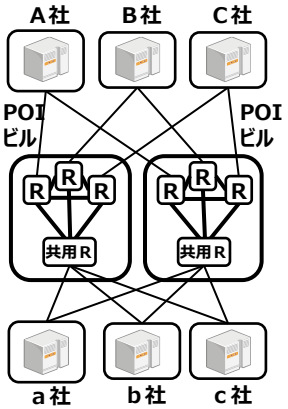
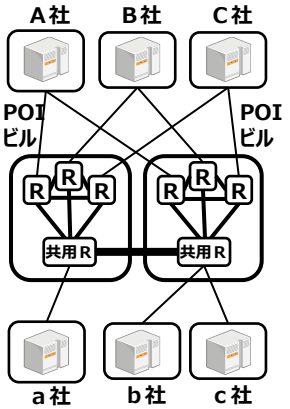
参考資料 電1－2

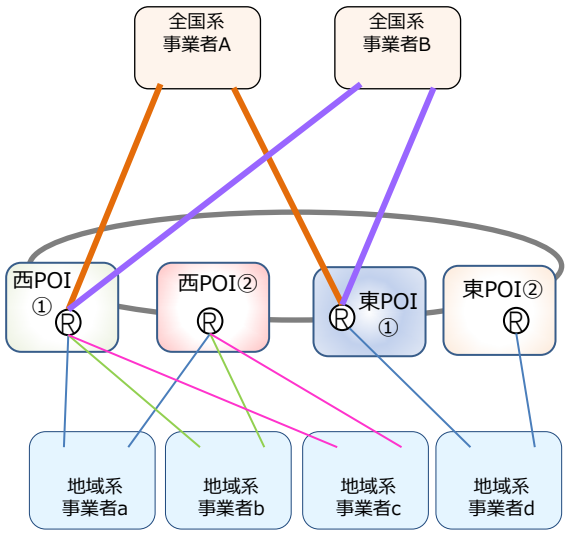
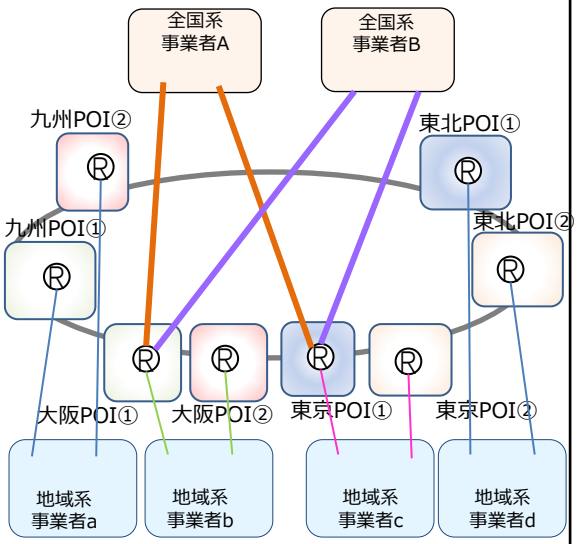
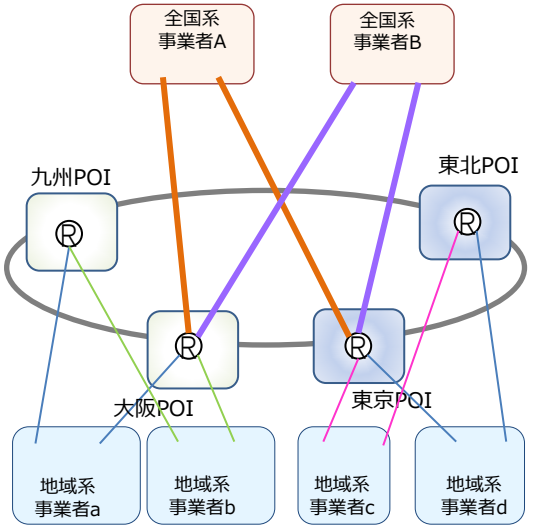
# ＮＴＴがコスト試算の検討の前提とした電話を繋ぐ機能のモデル

# 事業者間の意識合わせの場で提案されたモデル

| モデル | 案1　イーサネット（データ共用網） | 案2　ケーブルハブ | 案3　パケットハブ | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 案3-1　渡り無 | 案3-2　渡り有 |
| NW構成 |  |  |  |  |

| モデル | 案3　パケットハブ（案3-2の拡張構成（4ビル）） | | 案4　案2・案3の組合せ | |
|---|---|---|---|---|
| | 案3-3　全POIビル共用R | 案3-4　張出POIビル | 案4-1　案２・案3-1の組合せ | 案4-2　案2・案3-2の　組合せ |
| NW構成 |  |  |  |  |

# 電話網移行円滑化委員会における提案により検討されたモデル

| | 案５－１ | 案５－２ | 案５－３ |
|---|---|---|---|
| |  |  |  |
| POI数／エリア | 4<br>（東京・群馬・大阪・愛知） | 最大22<br>（全国11ブロック※1毎に2ヶ所※2）<br>※1：東日本6ブロック、西日本5ブロック<br>※2：事業者が接続を要望するブロックに限る | 最大11<br>（全国11ブロック※1毎に1ヶ所※2）<br>※1：東日本6ブロック、西日本5ブロック<br>※2：事業者が接続を要望するブロックに限る |
| 接続方法 | 東または西の２ヶ所のPOIに接続<br>・全国系事業者は、東西のPOI 1ヶ所ずつに接続（計2箇所）すると想定。<br>・地域系事業者は、近傍の2ヶ所のPOIに接続すると想定 | 任意の２ヶ所のPOIに接続<br>（同一ブロック可）<br>・全国系事業者は、東西のPOI 1ヵ所ずつに接続（計2箇所）、具体的には東京・大阪と想定<br>・地域系事業者は、自ブロック内の2ヶ所のPOIに接続すると想定 | 任意の２ヶ所のPOIに接続<br>（同一ブロック不可）<br>・全国系事業者は、東西のPOI１箇所ずつに接続（計2ヶ所）、具体的には東京・大阪と想定 |